

2010年6月議会

トマト試験栽培施設、三楽荘の補正予算についての質疑通告書

2010年6月28日 日本共産党 藤木くにあき

1. P21 トマト試験栽培施設の補正予算について

14節の借上料458千円の内訳は？ 簡易トイレ343,380円

15節の工事費3,336千円の内訳は？ 水道工事2,941,870円

19節の負担金42千円の内訳は？

補正予算の参考資料として、2010年6月17日の議会全員協議会に提出された資料にもとづいてさらに質問しますが、そもそも、このような説明は、全く始めて聞く話で、すでに実行しながら、補正予算を提案するなどということは、議会軽視もはなはだしいものだということを、質問の前に指摘しておきたいと思います。そこで質問しますが、

大島造船が2008年度から始めたトマトの栽培は、実質的に2009年11月に撤退するまでの、1年間だったと聞かすが、大島造船が借地のうえに3,000万円で建設した、温室の設備投資額、栽培に携わった社員の人件費は別として計算したときに、トマトの売上はいくらあって、種苗代、肥料代、光熱水費などの生産費がいくらで、利益はいくらあったときいているのか。また、栽培に携わった社員の人件費は別途いくらかかっていると聞いているのか。また、糖度の高い、おいしいトマトができていたとのことだがどうなのか。

大島造船が借地のうえに3,000万円で建設した、温室を庄原市に寄付したいと言ってきたそうですが、それは、いつのことで、誰が話を受けたのか。なぜ、庄原市に寄付するという話だったのか。そのことは地主も承知のことなのか。

その提案を受けて、2010年1月下旬にトップダウンで施設の寄付を受けることを決めたとのことだが、他人の農地にある施設を寄付してもらい、その農地の扱いはどうするように、地主と協議をされたのか。

また、その窓口は、江角副市長だったと聞くが間違いないか。そもそも、大きな予算の支出をともなう、このような重要な案件を、トップダウンで決める前に、今回のように、議会に、詳しい資料を提示し、説明されなかったのはなぜか。議会軽視もはなはだしいのではないか。

他人の農地にある施設を、買収も済んでいないのに、また、委託料の予算もついていないのに、2010年4月1日づけで、第三セクターの㈱グリーンウィンズさとやまと、この施設の業務委託の仮契約をおこなひ、すでに栽培しているとのことだが、これまた、議会軽視もはなはだしいのではないか。また、この間の地主との使用貸借契約などはどうなっているのか。

この施設の建っている農地を10アールあたり130万円で買うとしているようだが、農業の衰退している現在の時点では、異常に高いものだと誰でも判断できるが、不動産鑑定を適正なものにやりかえる必要があるのではないか。不動産鑑定をやりかえないのなら、こんな高い価格の農地は買うべきではないと思うがどうか。

販売見込みが1kg当たり、ピコリーノが500円、桃太郎が750円と10年間同じ価格で販売する計画が示されているが、10年間同じ価格で安定して販売できると考えているのか。市場価格が、ここ数年間、毎月の1kg当たりの平均価格が何円で、どう乱高下しているのか詳しく説明されたい。

仮に説明資料の価格で販売されたとして、設備投資額は全く計算に入れずに計算しても、種苗代、肥料代などの生産費を差し引くと、業務委託料、すなわち㈱グリーンウィンズさとやまなどの栽培に従事する職員の人件費分に相当するものが赤字になる、すなわち、10年間で3,800万円も赤字になることになっていますが、その赤字と設備投資を加えた、5,841万円を市民の税金で補填しようとするもので、このような事業は、事前に市民合意が必要であり、まず、慎重な検討をおこなうことが必要ではないか。少なくとも、議会を無視して、事前の協議もないまま、市長のトップダウンで決めるべき性格の問題ではないのではないか。

## 2. P23 三楽荘の補正予算について

11節の消耗品費800千円の具体的内訳は？全て細かく品目ごとに説明してもらいたい。

15節の工事請負費40,950千円の具体的工事内容を、2010年6月17日の議会全員協議会に提出された補正予算の参考資料で見ると、これまで、「当面、屋根と外壁だけ整備して最低の保存だけやらせてほしい」とした言明に反して、内装修復工事20,590千円、外構工事5,490千円、電源設備工事1,550千円、照明設備工事2,450千円、給排水設備工事2,710千円、空調設備工事4,910千円、防火設備工事3,250千円というように、外壁ではなくて、内装工事そのものをやろうとするものであり、6月11日の中国新聞で報道されたような、「想定外の傷み」ではなく、全員協議会に提出された資料の写真からもわかるように、最初からわかっていたものであり、「当面、屋根と外壁だけ整備して最低の保存だけやらせてほしい」とした言明に明らかに反するものではないか。

18節の備品購入費2,250千円の内訳はなにか、一品ごとの内容、製品の特徴、単価と合計台数などを全て説明していただきたい。これも、「当面、屋根と外壁だけ整備して最低の保存だけやらせてほしい」とした言明に明らかに反するものではないか。